



## 大学学部・大学院学位授与式

「2008年度 鳥取環境大学 学部・大学院 学位授与式」を3月20日(金)に、鳥取市民会館で執り行いました。スーツや晴れ着に身を包み、第5期生となる学部卒業生229名、大学院修了生12名は、古澤学長、各学科長より学位記が授与されました。新たなスタートを切った卒業生に期待します。



## 入学式

「2009年度 鳥取環境大学 学部・大学院入学式」を4月4日(土)に本学で執り行いました。新しいスーツを身にまとい、緊張した面持ちの新入生たちが次々に訪れると会場は新鮮で華やいだ雰囲気に包まれました。



古澤学長から156名の学部生と3名の大学院生への入学が許可されたあと、学部新入生、大学院生をそれぞれの代表が宣誓を行いました。今後、新入生がどのように成長し、羽ばたいてくれるか楽しみです。



### 2009年度鳥取環境大学公開講座

#### 新生!鳥取環境大学公開講座 第一弾

受講希望の方、お問い合わせはメールが電話でお申し込み下さい

#### 鳥取環境大学 企画広報課

TEL.0857-38-6704 / FAX.0857-38-6709

E-mail [kouryu@kankyo-u.ac.jp](mailto:kouryu@kankyo-u.ac.jp)

5/9(土) 5/16(土)

米子会場

鳥取会場

#### 地球環境を診断する～温室効果ガスのモニタリング～

環境マネジメント学科 藤沼 康実 教授

今回は、地球環境問題の中で最も深刻な地球温暖化を引き起こす原因物質(温室効果ガス)の挙動についてのモニタリングを例に、分かったこと、また、それが何に役立つのかなどについて、最新のモニタリング成果を中心に紹介します。

6/20(土) 6/6(土)

米子会場

鳥取会場

#### 資源と環境を大切に「ごみ処理」～循環型社会の実現のために～

環境マネジメント学科 田中 勝 教授

循環型社会構築のために、今までより資源を大切に、汚染対策を徹底する環境を大切にするごみ処理方法が求められています。関係者にはごみ処理の施策や技術を選定した根拠を分かりやすく説明する必要があり、その方法を解説します。

7/4(土) 7/11(土)

鳥取会場

米子会場

#### 自然と共生できる地域の再生

環境マネジメント学科 三野 徹 教授

水田稲作等、自然と共生する持続型社会をどのように描けばよいか、参加者と一緒にこの点について考えてみたいと思います。

8/8(土) 8/29(土)

米子会場

鳥取会場

#### 私たち、自分自身のための環境保全

元研究・交流センター長 鷲野 翔一 非常勤講師

「情けは人のためならず」と言いますが、環境保全は誰のためにするのでしょうか?そう、私たち自身のためにするのです。人間の心理学的側面にまで踏み込み紹介します。

### 保護者の声 第1回

## メイク ユアドリーム

2009年度 新入生保護者 勝連 盛豊(沖縄県)

人の世に三知ありと言う。その三知とは「自ら学んで得る知」と「自ら体験して得る知」、「人と交わって得る知」である。大学は興味、関心のある分野を追求し、自己研究を深めて行く場所である。そのためには「自学」の力を高め、さまざまな人と「交流」・「体験」を通してわが娘、新入生諸君には、その生き方や考え方に触れ合うことで、自分の考えや思いを伝えられる力を養い、志実現と生活の道を拓く力をつけてもらいたいものである。

### 支援する会

## 環境大学に期待する事

鳥取環境大学を支援する会 会長 清水 昭充

毎年環大コンペへの応募も多くなり、内容も多岐にわたり企画力も実践力も良くなっている。もう一つ注目しているのが高校生環境論文カップ。年々応募数が多くなり、環境に関心を持っている高校生がたくさん居る事は頼もしい。今後期待することは、より多くの実践的な授業・実験・実習を学校内外で実施することによって、青春の4年間に未知の事にぶつかっていくチャレンジ精神を鍛え、自然と共生していく事を学び、人間の五感を磨いて、感性豊かな学生を社会へ送り出すことである。